資料２

越前市の環境に関するアンケート
調査結果報告書

越前市
2026 年 11 月

目次

市民

問１　回答者の属性 2
問２　環境に関する認知度・評価 3
問３　省エネルギー・脱炭素 4
問４　自然環境・生物多様性 8
問５　ごみ減量・リサイクル 9
問６　環境共育 10
問 7・8　将来像・自由意見 11

事業者

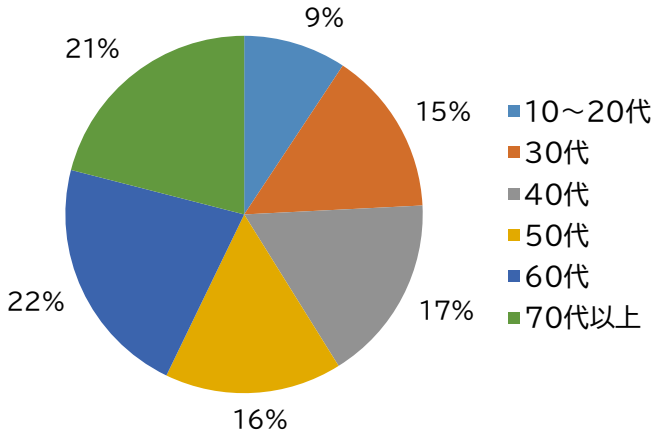
問１　回答者の属性 22
問２　地球温暖化対策 23
問３　自然環境・生物多様性 26
問４　ごみ減量・リサイクル 27
問５　環境に関する認知・活動状況 28
問６　将来像・自由意見 29

調査概要

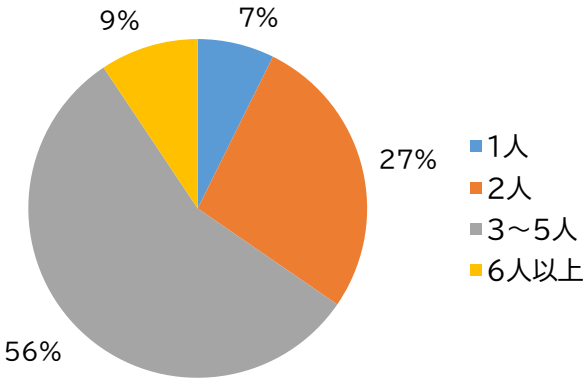
調査対象	市内の全世帯	市内の全事業所
調査方法	郵送、Web 併用	郵送、Web 併用
調査期間	2026 年9月4日～9月 25 日	2026 年9月4日～9月 25 日
配布数	1,000 人	200 事業所
回収数（回収率）	345 人（34.5%）	66 事業所（33.0%）

市民　問１　回答者の属性

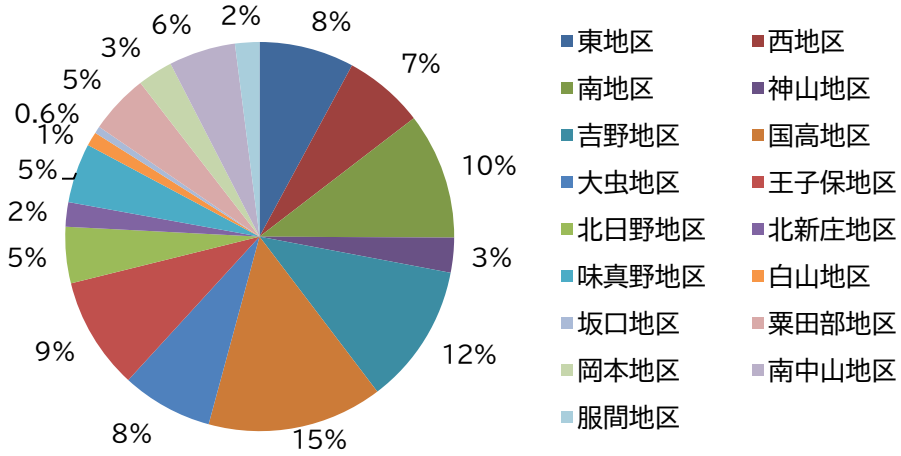
問 1-1【質問】あなたは、どの年齢層に該当しますか



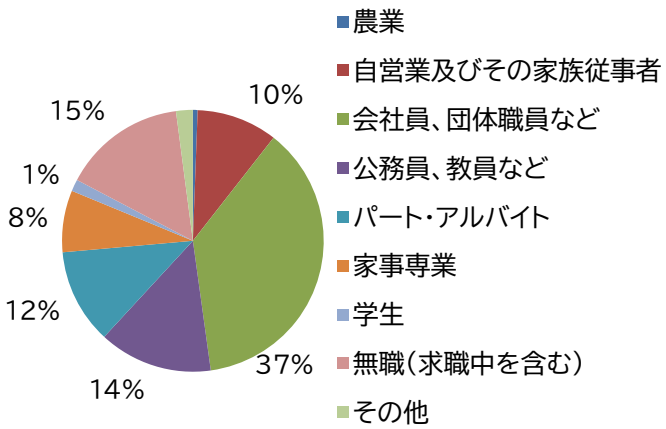
問 1-2【質問】あなたご自身を含めて、同居するご家族は何人ですか



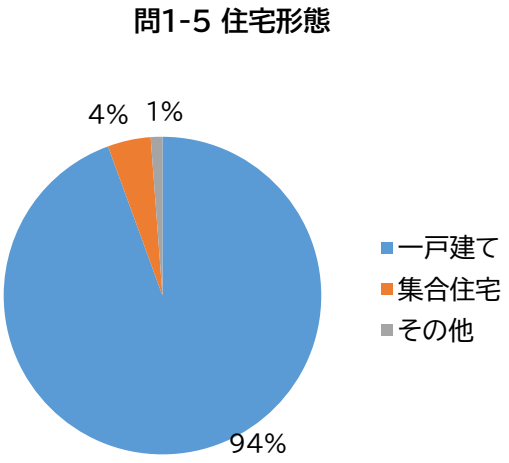
問 1-3【質問】あなたは、どの地域にお住まいですか



問 1-4【質問】あなたは、主にどのような職業に携わっていますか

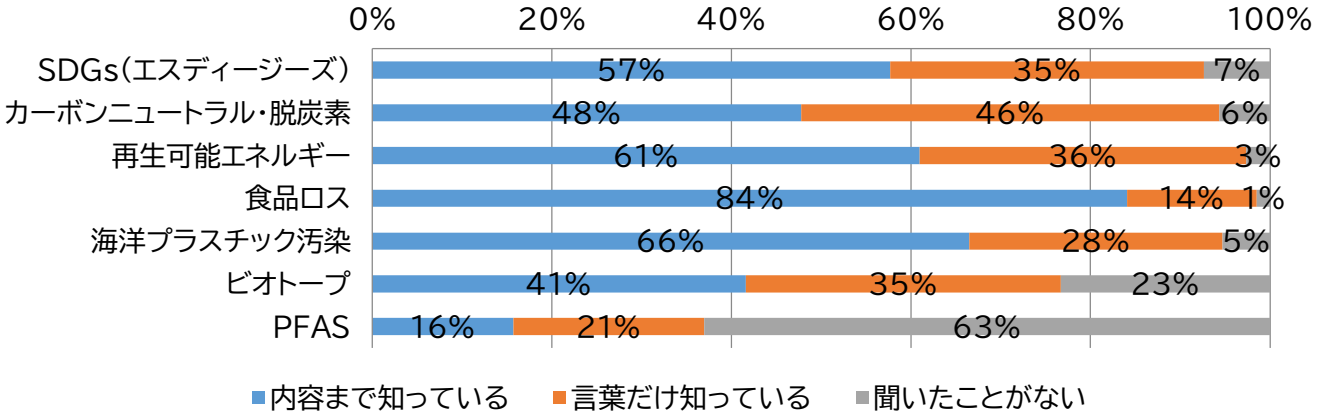


問 1-5【質問】お住まいの住宅はどのような形態ですか



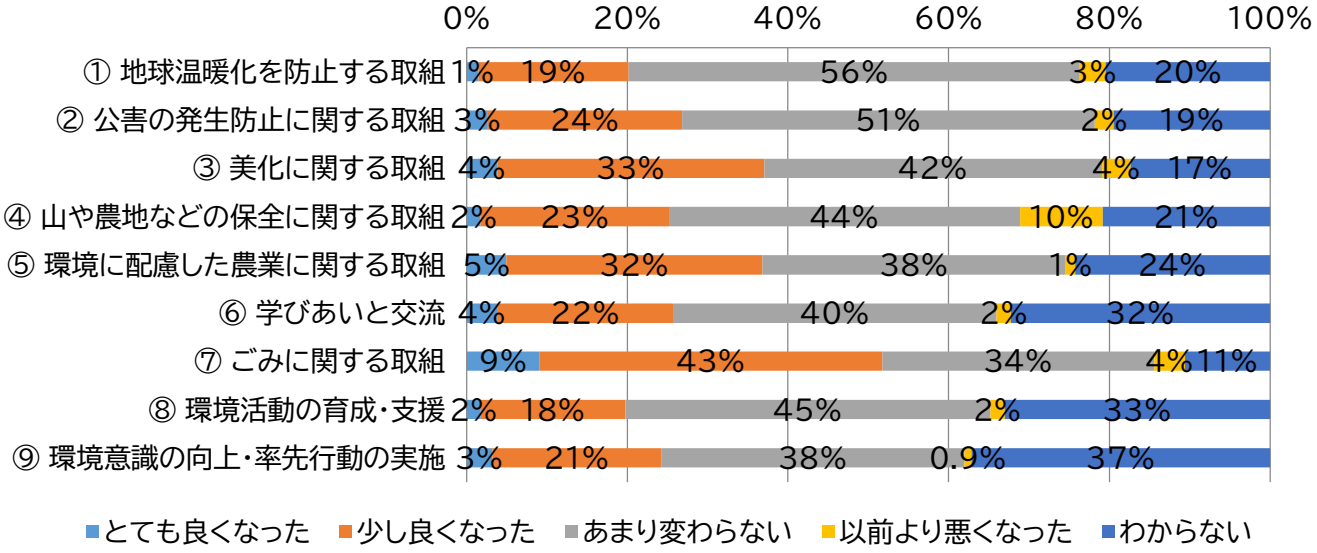
市民　問 2　環境に関する認知度・評価

問 2-1【質問】次の環境に関する言葉について、どの程度知っていますか



- 「食品ロス」は「内容まで知っている」が 83.6%となり、7 項目の中で最も高くなっています。このことから、食品ロスは他の環境用語と比べて内容まで含めた認知が広く浸透していることがうかがえます。

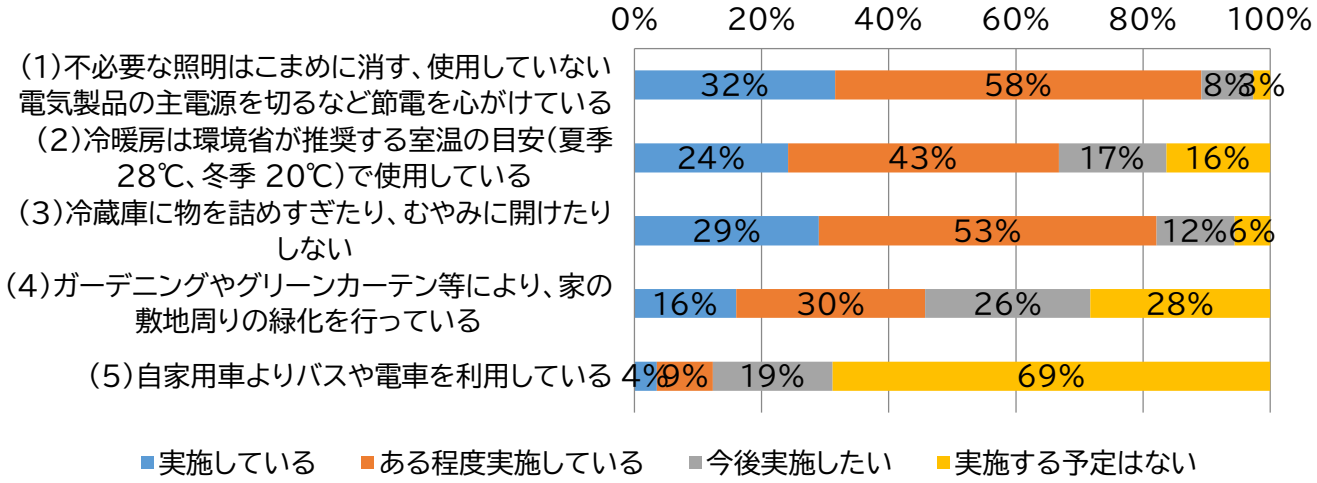
問 2-2【質問】この 5 年間で市の環境や取組はどのようになったと思いますか



- ① 地球温暖化を防止する取組
  「あまり変わらない」が 56.1%となり、9 項目中で最も高くなっています。
- ⑦ ごみに関する取組
  「少し良くなった」が 42.6%と 9 項目中で最も高く、「とても良くなった」を合わせた改善評価は 51.7%と唯一過半数を占めています。ごみの減量化や資源回収などは、他の取組に比べて市民が改善を実感しやすい分野であることがうかがえます。
- ⑨ 環境意識の向上・率先行動の実施
  「わからない」が 37.1%と 9 項目中で最も高く、「あまり変わらない」の 37.7%とほぼ同じ割合です。環境教育などの取組やその成果が市民から見えにくく、評価に必要な情報が十分に伝わっていない可能性があります。

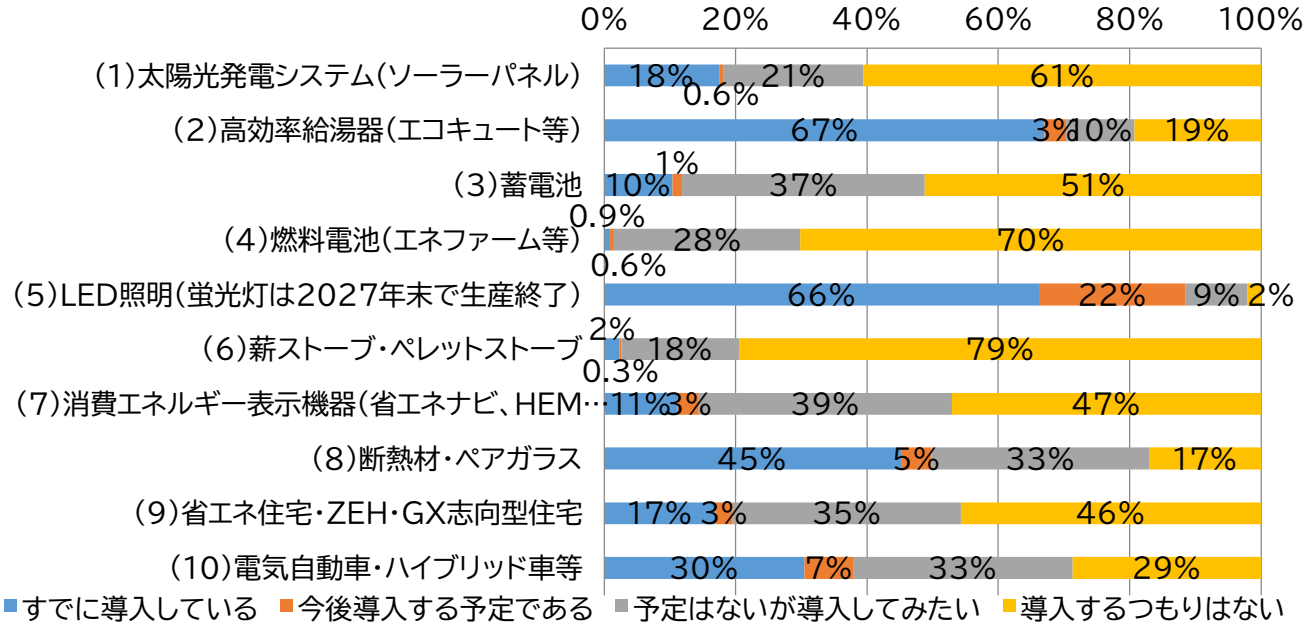
市民　問３　省エネルギー・脱炭素

問 3-1【質問】次の行動について、最もあてはまるもの



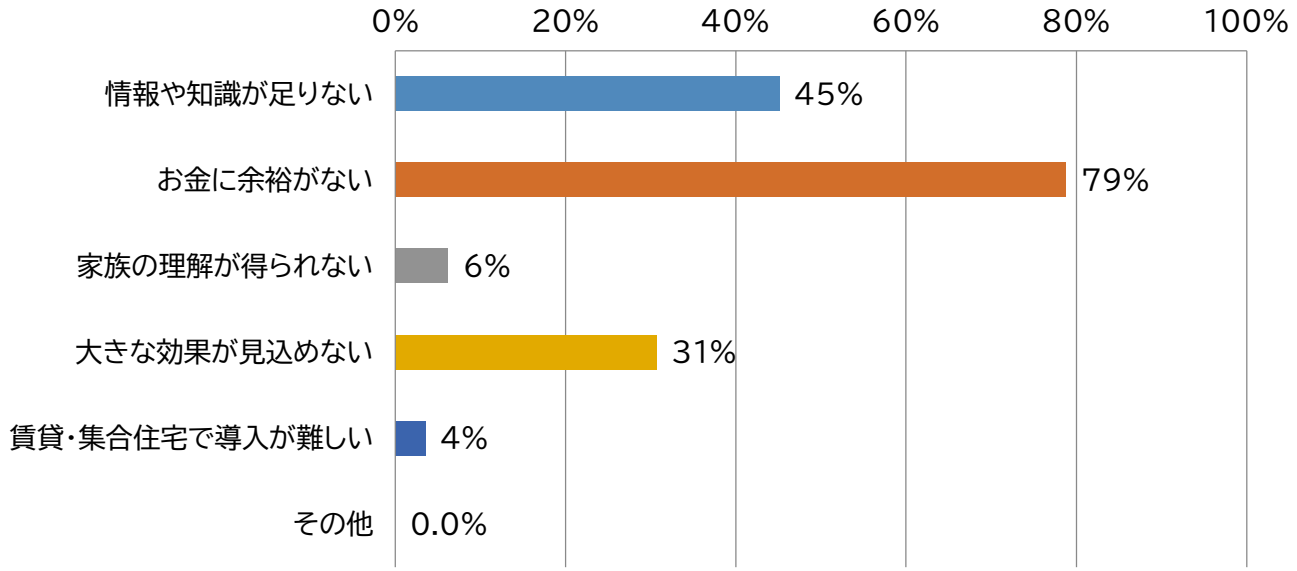
- (1)節電について「実施している」「ある程度実施している」の合計が 89.2%、(3)冷蔵庫の適切な使用も 81.8%となっています。日常生活の中で手軽に取り組める省エネ行動は、広く定着していることがうかがえます。
- (5)公共交通の利用は「実施する予定はない」が 68.8%と突出しています。自家用車から公共交通への転換は、他の省エネ行動に比べて実践が難しいことがうかがえます。

問 3-2【質問】環境に配慮した設備の導入状況



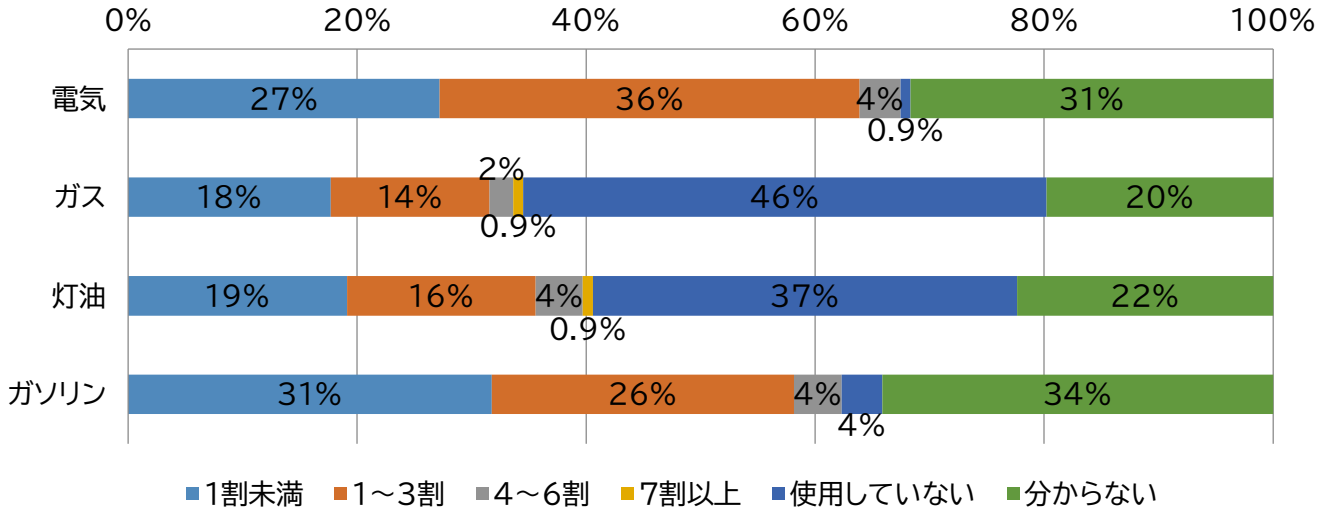
- (1)太陽光発電システムの「すでに導入している」は 17.5%となっており、およそ6世帯のうち1世帯が導入していることが分かります。
- (2)高効率給湯器は 67.1%、(5)LED 照明は 66.2%が「すでに導入している」と回答しています。比較的普及が進み、家庭で導入しやすい省エネ設備になっていると考えられます。
- (6)薪・ペレットストーブは「導入するつもりはない」が 79.5%、(4)燃料電池は 70.1%となっています。これらは他の設備に比べて導入意向が低く、普及に向けたハードルが高いことがうかがえます。

問 3-3【質問】環境に配慮した設備を導入する上で、課題となっているもの



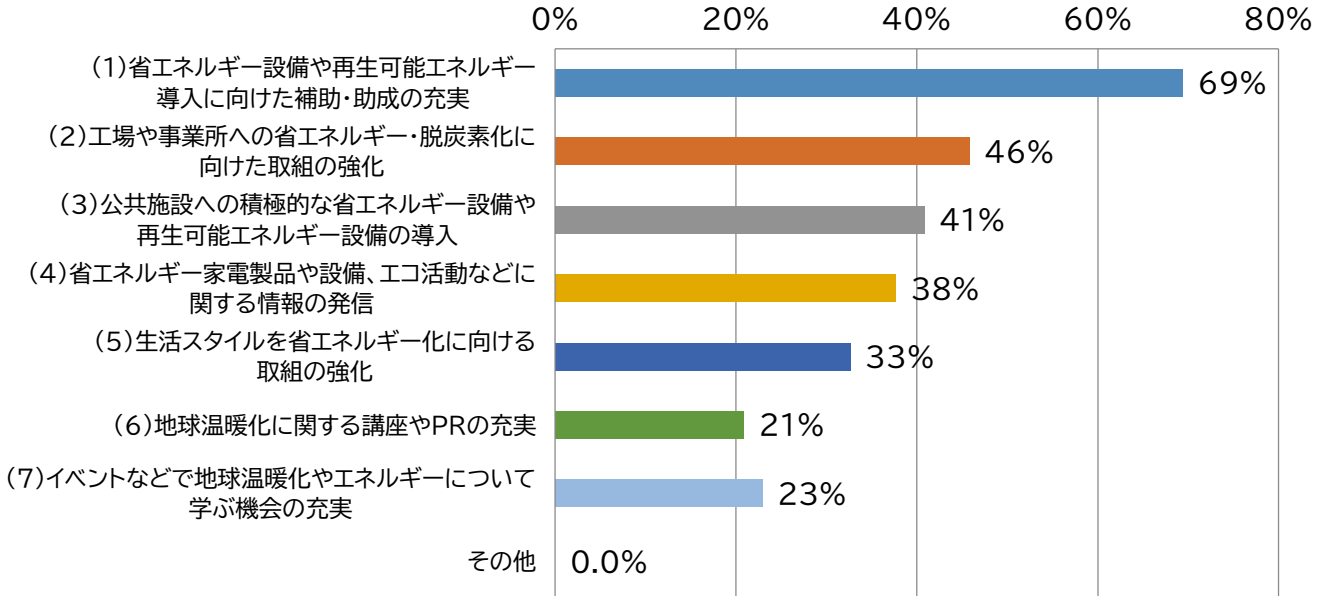
- 「お金に余裕がない」が 78.8%と最も高く、次いで「情報や知識が足りない」が 45.1%となっています。設備導入では、経済的負担が最大の課題であり、情報不足も大きな障壁となっていることがうかがえます。
- 「大きな効果が見込めない」も 30.7%を占めています。費用だけでなく、導入効果を具体的に示すことも重要と考えられます。

問 3-4【質問】今後 5 年間でエネルギー使用量をどの程度削減できると思いますか



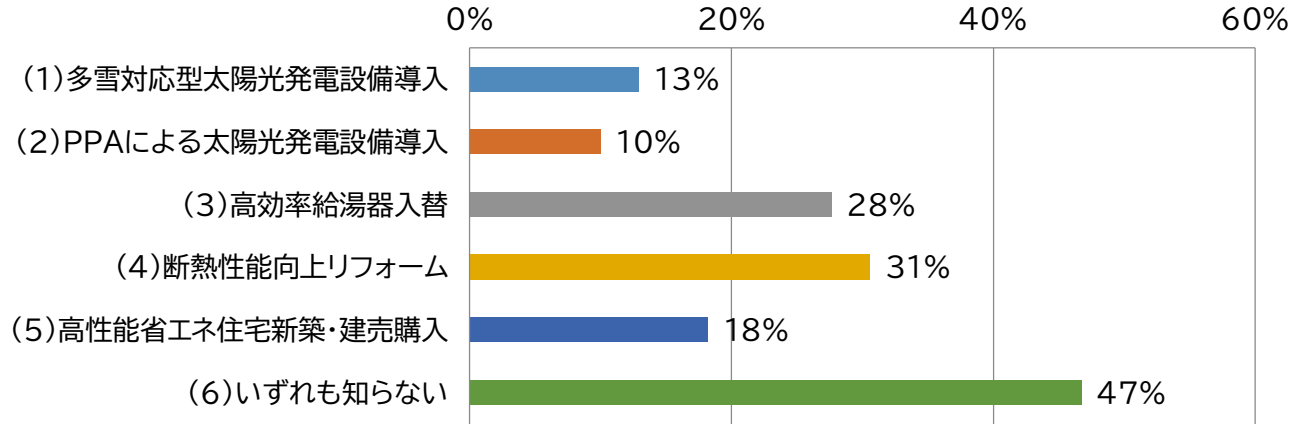
- 電気は「1～3 割」が 36.4%で最も高く、「1 割未満」を合わせると 63.4%が削減可能と回答しています。大幅な削減よりも、日常生活の見直しによる比較的小幅な削減が現実的と捉えられています。
- ガソリンは「分からない」が 33.8%で最も高く、削減可能量を判断できない回答が目立ちます。自動車利用の必要性などから、削減の見通しを立てにくいことがうかがえます。

問 3-5【質問】省エネ・脱炭素化を進める上で、重要だと思う市に求める取組



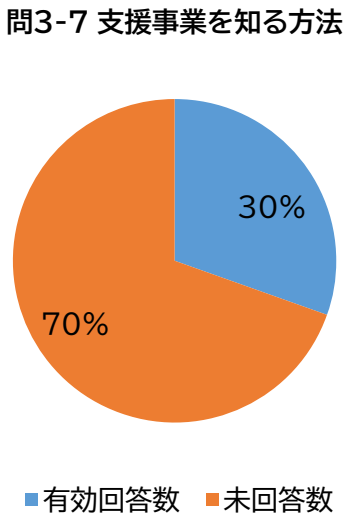
- 「省エネルギー設備や再生可能エネルギー導入に向けた補助・助成の充実」が 69.4%で最も高くなっています。設備導入の経済的負担を軽減する支援が、最も求められています。
- 「工場や事業所への取組の強化」が 45.9%、「公共施設への設備導入」が 40.9%となっています。家庭への支援だけでなく、事業者や行政が率先して取り組むことも期待されています。

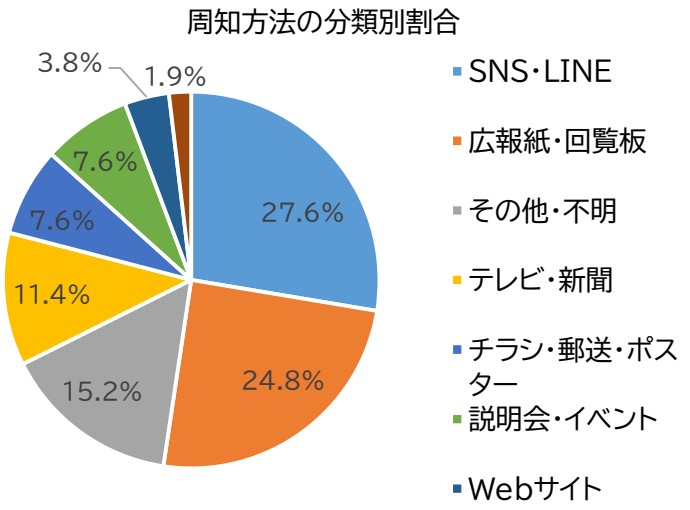
問 3-6【質問】再エネ・省エネ設備導入の支援事業で知っているもの



- 「いずれも知らない」が 46.8%で最も高く、半数近くが支援事業を認知していません。支援制度の存在や内容について、周知を強化する必要性がうかがえます。
- 個別事業では「断熱性能向上リフォーム」が 30.6%で最も高いものの、認知率は 3 割程度です。最も知られている事業でも、十分に浸透しているとは言いにくい状況です。

問 3-7【質問】支援事業の情報を知ることができる周知方法（自由記述）

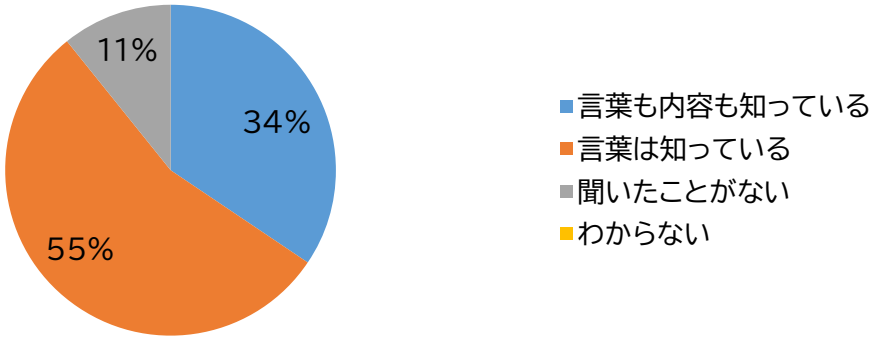




分類	件数	主なコメント（原文ママ）
SNS・LINE	29	• 一度もそのような情報をみたことがない。どこで周知してるのでしょうか？ネット広告や折り込みチラシなどを活用、YouTuber に周知してもらう • こういった情報は、検討した時に調べて知る、もしくは家電量販店などに行った際に知るかどちらかなので、ちょっと調べてみようかなと思うような情報を SNS で発信したらイイのではないかと思う • SNS で事業内容を発信しているなら、アカウントをフォローして情報を得たい。または無理やりでもいいからメールが届くなら見るかもしれない。
広報紙・回覧板	26	• 興味のある人がわかるように広報でお知らせしたり、町の電気屋さんや住宅メーカーに宣伝するようにしたらよい • 「費用対効果」「メリット、デメリット」等、活動報告書等々、市広報で見た事がほとんどない。少しあった事もあったが。継続的に告知してもらわないと忘れる。 • 市のイベント等での PR。広報に挟んであっても見ずにそのままゴミ箱に入れている。
その他・不明	16	• 方策と個人的にかかる費用とのバランスなども PR する • 各家庭でのエネルギー使用の現状を知る手段を提案し、削減量により市民税減額などが出来るしくみをつくり、挑戦してもらうようにすれば自ら調べるようになり周知がすすむのでは？ • 知る事でハピコインがもらえるなど、目の前の利益と繋がると情報を取得する気になるかと思います。
テレビ・新聞	12	• 夕方のニュースでとりあげる
チラシ・郵送・ポスター	8	• 税金の通知書と一緒に支援内容を通知すること • 必要な時に知れるとよい　店頭とか　家庭が知れる場にチラシを置くとか • 動画（街頭のマッピングもOK）とかフリーペーパーでのかいせつ
説明会・イベント	8	• 地区ごとの説明会実施。 • 市民大学などにおいて講座開設を周知する • 町内での防災訓練等の折に講師を派遣してもらえると知ることが出来るのではないかと思います
Web サイト	4	• 設備導入やリフォームを検討する機会があればその時自分で調べると思いますので、ホームページにわかりやすい説明があれば十分です。

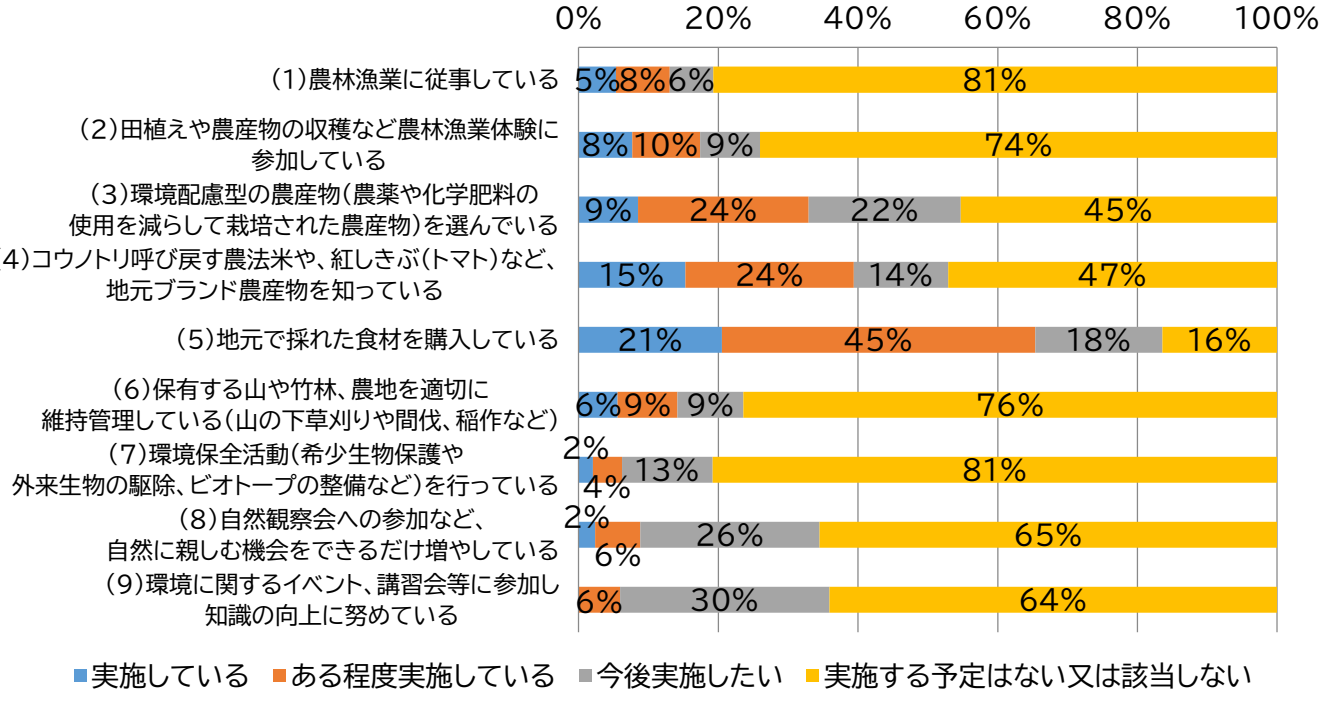
市民　問４　自然環境・生物多様性

問 4-1【質問】「コウノトリが舞う里づくり」の認知度



- 「言葉は知っている」が 54.8%で最も高く、「言葉も内容も知っている」は 34.4%となっています。名称の認知は広がっている一方、内容の理解には伸びしろがあると考えられます。
- 「聞いたことがない」は 10.8%にとどまり、言葉の認知率は 89.2%です。里づくりという言葉自体は、多くの回答者に浸透しています。

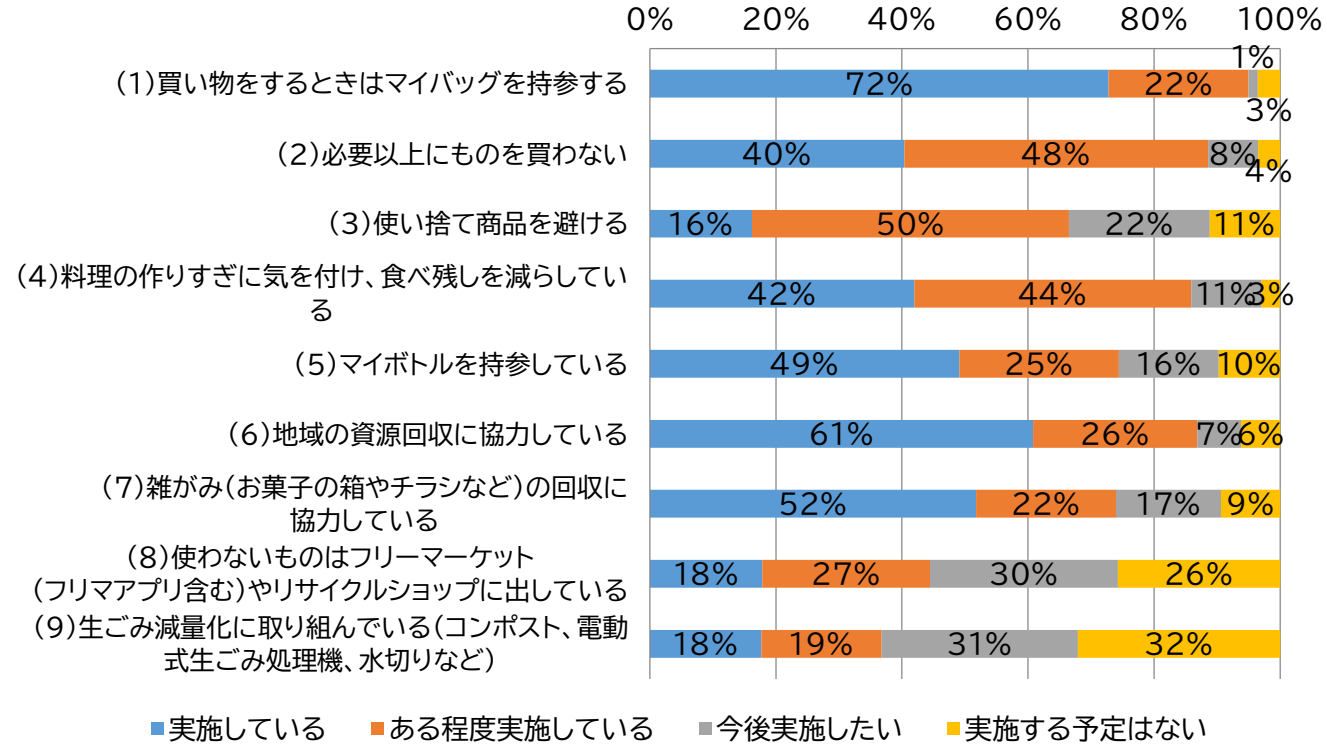
問 4-2【質問】自然環境や生物多様性の保全に関する行動の実施状況



- (5)地元食材の購入は「実施している」「ある程度実施している」の合計が 65.4%で、他の行動より高くなっています。日常の買物を通じた自然保全や地域農業への関わりは、比較的実践しやすいことが伺えます。
- (9)環境イベントや講習会への参加は、実施層が 5.9%にとどまる一方、「今後実施したい」が 29.9%となっています。現状の参加率は低いものの、参加意向を持つ層は一定数存在します。

市民　問５　ごみ減量・リサイクル

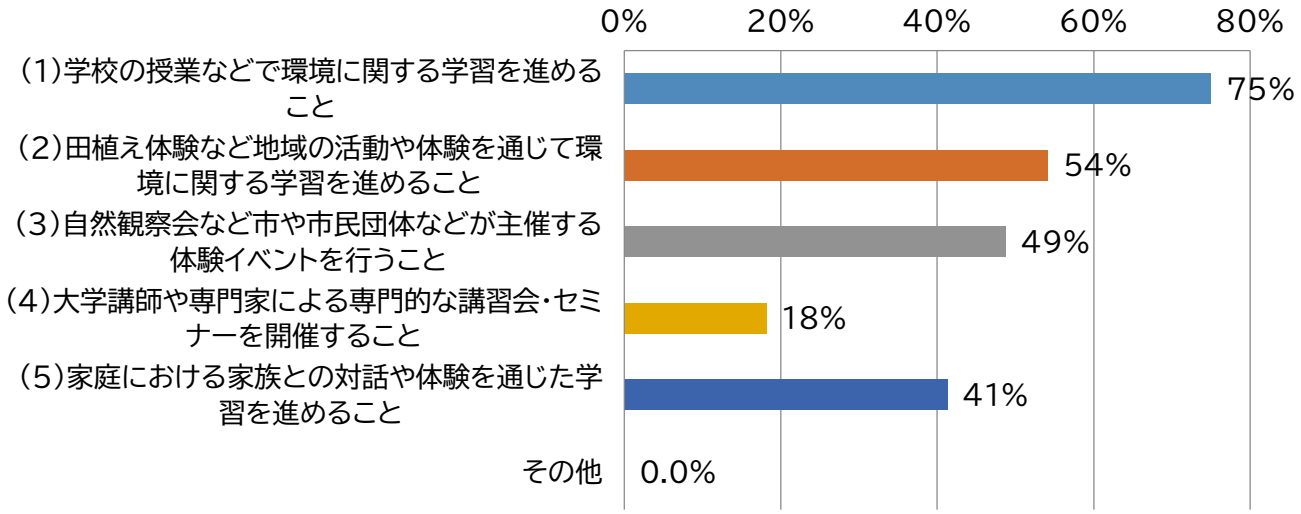
問 5-1【質問】ごみの減量化やリサイクルに関する行動の実施状況



- (1)マイバッグの持参は「実施している」「ある程度実施している」の合計が 93.6%となっています。日常的で取り組みやすいごみ減量行動として、広く定着しています。
- (9)生ごみの減量化は「実施する予定はない」が 32.0%で最も高い一方、「今後実施したい」も 31.1%となっています。関心はあるものの、実際の取組につながりにくい分野であることがうかがえます。

市民　問 6　環境共育

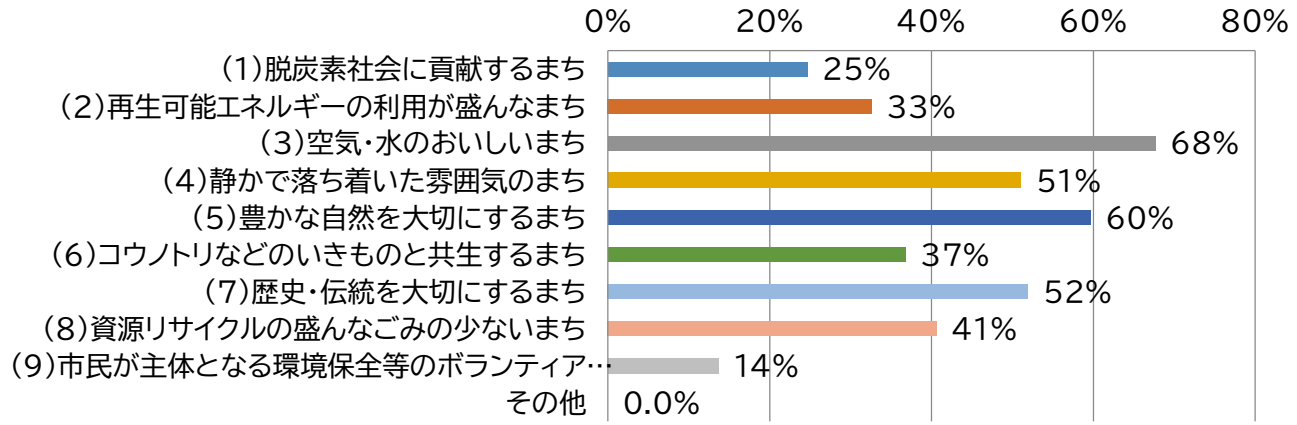
問 6-1【質問】「環境共育」について重要だと思う取組



- (1)「学校の授業などで環境学習を進める」が 75.0%で最も高くなっています。学校教育を環境学習の中心とすることへの期待が特に高いと考えられます。
- (2)地域活動を通じた学習は 54.2%、(3)自然観察会などの体験イベントは 48.8%となっています。座学だけでなく、地域や自然の中での体験を重視する傾向もみられます。

市民　問7・8　将来像・自由意見

問 7-1【質問】あなたが望む越前市の将来イメージ



- (3)「空気・水のおいしいまち」が 67.7%で最も高く、次いで(5)「豊かな自然を大切にするまち」が 59.6%となっています。将来像として、身近な生活環境の良さや自然の豊かさが重視されています。
- (14)「市民主体の環境保全ボランティア活動が盛んなまち」は 13.6%で最も低くなっています。環境の質への期待に比べ、市民活動そのものを将来像として重視する回答は少ない状況です。

問 7-2【質問】環境分野ごとのイメージする言葉やキャッチフレーズ

地球環境(55件)		
エコライフえちぜんし	ネイチャーエコタウン越前	(小さい事から始めよう)止めよう温暖化
越前コンシデレーション	自然に回帰する	温暖化防止
住みやすい越前市	クリーンエネルギーでゼロカーボンの越前	地球上にやさしい環境
自然とエコ越前	エコシティー	脱炭素
三方良しの町	未来につなぐゼロカーボン	もうまてない
そばとエコの街 越前市のどか	空気が綺麗な町	資源を未来へ
エコタウン　えちぜん	クリーンベスト越前シティー	温暖化からの気象変動による災害
エコロジータウンを目指そう	ちきゅうにやさしい、ちきゅうをまもる	市民が動かす街
大気汚染	地球にやさしい越前市	オールクリーン推進都市越前
町全体 de エコ越前	不法投棄ゼロ	温暖化防止のために生活を見直す
エコ越前	エコな町えちぜん	二酸化炭素削減
エーコさん	温暖化防止	治・アース
再エネタウン越前市	よりよい未来　越前	無駄な電源を切る
なし	プロミスアース越前	地球に優しいまちづくりのまち
自然の恵み、未来の力。心やすらぐ越前市	四季折々の美しさ	ゴミをへらす
「未来は、選べる。越前市」出さない、めぐる、越前市	未来を冷やす、今日の選択	eco して e-co(良い子)越前市
温暖化防止	人間が環境対応しても地球の温度は変わらない。	少しでも意識を持って温暖化防止

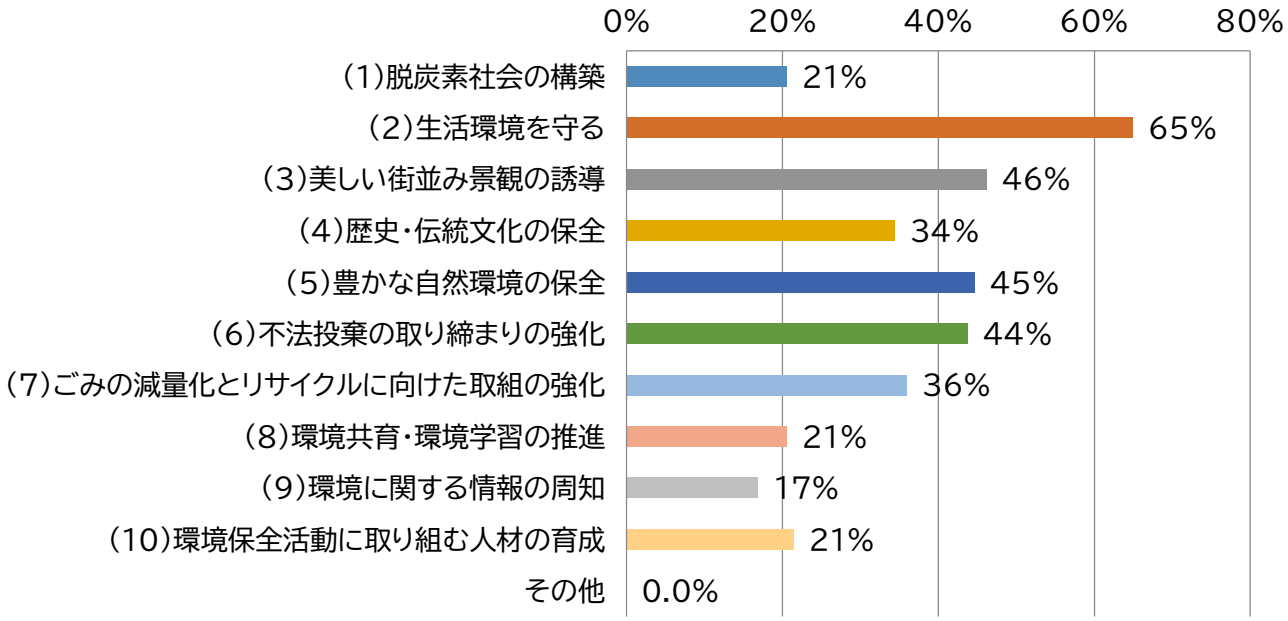
生活環境(61 件)		
きれいな河川のまち	クリーンな町	安心安全なまち
安心・住み良いまち越前	クリーンな空気が育む健康長寿のまち	地球上にやさしい環境
基準を守るまち	電柱のない景観越前市	公共交通手段の充実
快適なま	市民一体型の安心安全共有なまち	ちいかわが見てる　ワチワレびんぼうがんばる
安心安全なまち越前	環境にやさしい、きれいなくうき、きれいなそら、	捨てる人ゼロ　見すごす人もゼロのまち
エッジのある町　打刃物	ゴミひとつないまち	越前市はあまり公害はないと思っています
ゴミをみかけない町	ビューティフルでクリーンなまち	安心して暮らせる街
セーフティー　えちぜん	歴史がつなぐ住みよい環境と人づくり	人としてのマナー重視のまち
世界の真ん中の武生	環境に優しいまち	いつでも出歩ける明るい街
綺麗な水のまち	不法投棄防止	歩いて楽しい街
心が汚れる不法投棄、汚さない町越前	コトコツ越前市	綺麗な街
安全越前	ポイステゴミのないまち	ポイ捨ては止めよう
不法投棄やめっちんぐ	安心して住める　水や空気のきれいなまち	私に優しいまち
みんなが安心できる街	ネイチャーセーフティー	きれいで安心安全な越前
きれいなまちは、みんなでつくる	河川ごみ越前市でストップ	川にゴミをすてるな
「未来は、選べる。越前市」安心、越前市	安心安全、健康第一	タバコやゴミのポイ捨てしない
環境を守って住み良いまち	ゴミの不法投棄　あなたの心も捨てるの？	空気がきれいなまち
エコ＆クリーン 越前市	いらない物や、捨てる物は買わない。	ゴミをださない
安心して水が飲めるまち	人間が環境対応しても地球の温度は変わらない。	モラルに反しない町

自然環境(61 件)		
コウノトリと共生するまち	自然界との共生	地球上にやさしい環境
有機ある町、越前	自然の恵みと共生するまち	ホタルが舞うまち　山林の整備
自然を守るまち	水、空気を大事にするまち	都市と自然が調和したまち
蛍が飛び交うまち	コウノトリ(いきもの)と共に生きる	人と生きものがなかよく暮らすまち
コウノトリと共に生きる越前	空気が美味しいね越前市	コウノトリ見た事が無い
切れ味抜群　越前市	コウノトリのふるさと	緑ゆたかで野鳥の声が聞ける町
侵略的外来生物”0”を目指す町	鳥獣との住み分け	そばと米の美味しい街
全ての生物と共生するまち	環境と人が共生できるまち	バイガモと共生できるまち
この際パンダ買ってみる？	水のきれいなまち	グリーンライフ ECHIZEN！
里山を守る	自然を見守る越前市	1000 年後も同じ環境を維持する街
自然いっぱい	生物多様性を実現するまち	地球はすべての生き物のためにある
ダンシングコウノ	鮎が生きやすい川	自然との共生
コウノトリと暮らそう	動植共存	緑豊かなまち
コウノトリが舞う、美しいまち	コウノトリと自然	ミドリハビコル
「未来は、選べる。越前市」共に生きる、越前市	美しい緑と青い空と水	豊かな自然が残るまち
コウノトリが育て町	コウノトリと命をつなぐ青空へ	自然豊かに
豊かな自然を守れるまち	猪猿鹿の撲滅。	コウノトリと一緒❤
With コウノトリ 越前市	人間が環境対応しても地球の温度は変わらない。	コウノトリが自然に見られる越前市
コウノトリに一番近いまち	すくすくはばたく　えちぜん	豊かすぎる自然
水と緑と生きものが豊かな越前	自然を大切にする越前市	

資源循環（66 件）		
ごみをエネルギーに変えるまち	ゴミ分別を徹底するまち	エコリサイクルシティ
リサイクル No1 のまち	ごみゼロ、ロスゼロ	物々交換で食品ロスを！
越前ごみな市	リユース　リドゥース　リサイクルなまち	ごみを出さないまち
昔からわし　和紙　の町	リサイクルのまち	地球上にやさしい環境
ゴミの資源化がうまい町	タバコのポイ捨て対策	ゴミのポイ捨て防止　プラスティックゴミの適正処理
いらないものは売って、出してリサイクるん♡	ごみ分別推進まち	あなたの気持ちしだい
ペットボトル捨てられないまち	リサイクルシティ	捨てる前にひと工夫
？	無駄は地球の敵	ゴミ分別が出来る町
ごみの分別	ごみをすてない	リサイクル環境の優れた街
回収、再生、繋がる未来	まわそう、資源の輪	地球に優しい越前（分別をしっかりしている）
ごみないとし	リサイクル活発越前、エコ活発越前	生ごみは堆肥になる食品資源
BUNBETSU	ごみ分別の正しい町	リサイクル
エコサイクルネットワーク　えちぜん	リサイクル推進のまち	以前（昔）のごみ問題に戻ろう（少々）
分別から始まる、きれいなまち	脱プラ・昔のいいものを再認識するまち	無限のエネルギー
「未来は、選べる。越前市」捨てない、越前市	ループエコシティ	子や孫の代へキレイなままでバトンタッチ
ゴミが無い町	ごみの分別、教育していますか	包装の簡素化
誰でも出来るリサイクル	分別の徹底と遵守	県内1ごみが少ないまちを目指すまち
循環のまち 越前市	もったいないから活かすエコへ プラ減らし食品ロスのない食卓へ	コミュニケーション語源は「分かち合う」「共有する」ラテン語『やっているよゴミュニケーション』
捨てるを活かす循環のまち	電気処理 30,000 円位全額立替にしてほしい。ぼかしを使って生ごみ処理しているが夏は虫がくるのでしていない。（4000 円位）	ごみの分別
活かして減らすスマート循環の越前	物の限界。	Cycle 越前
ゴミ・ロスゼロ越前の街	人間が環境対応しても地球の温度は変わらない。	正しい分別できれいな町

環境共育（47 件）		
環境問題を考え続けるまち	自然に学び未来の環境を育む越前	人間が環境対応しても地球の温度は変わらない。
自然に溶け込むまち	自然に学び共に育てるまち	ジョブ応援
環境きょういく越前	環境を考えるまち	環境についてみんなで考えるまち
流されない町	市民の環境を考えるまち	地球上にやさしい環境
人と自然が仲良しな町	かんきょうまなべる、	若者ファイト
一人ひとりの意識を変える環境の環（わ）	環境共育がんばるまち	もったいないを未来へつなぐ
人材育成は吉田松陰	環境をもっと身近に感じれるまち	エコカルチャーシティ
環境の共有	学校と企業のカリキュラムにも取り込む	全員参加の環境共育
みんなで艦橋	環境への配慮のまち	市役所職員の学びと実践
なっちゅりん	環境保全のまち	皆で知る環境
子供の頃からエコな教育を！！	エコ越前	チ（知）
ふるさとの自然を、未来の教科書に	これからの地球のことを思うまち	知って特する環境教育
「未来は、選べる。越前市」知る。動く。越前市	プラン plant ツリーclean	自然を大事にする町
環境共有のまち	環境意識の向上	住みよい町づくり
環境問題を学べるまち		

問 7-3【質問】市に重点的に進めてほしい施策



- (2)「生活環境を守る」が 65.0%で最も高くなっています。市民生活に直接関わる環境の維持・改善が、最優先の施策として求められています。
- (3)「美しい街並み景観の誘導」が 46.2%、(5)「豊かな自然環境の保全」が 44.7%(6)、「不法投棄の取り締まり強化」が 43.8%と続いています。景観、自然、不法投棄など、目に見えやすい地域環境の課題が重視されています。

問 8【質問】脱炭素社会の実現や二酸化炭素排出削減についての意見・アイデア（自由記述）

脱炭素社会の実現や二酸化炭素排出削減についての意見・アイデア（93 件）
現在の排出量の周知（日本全体、越前市）と実際に削減できる目標を明確にしてほしい。ゼロにできるわけがないと考えているので、、、。
荒れた森を管理する手立てを考える
不要だと思う。
脱酸素社会の実現に向けて再生可能エネルギーの他に二酸化炭素排出を行わない安定したエネルギー資源の研究やエネルギーロスの最小化を目指す取り組みの強化をしてほしい
賛否両論はあるだろうが、二酸化炭素削減には原発の積極的な導入しか無いと思う。ゼロカーボンを実現するには綺麗事だけでは実現不可能である。
特になし
3 年で成果が見えそうな政策を繰り返す。市民が得をする政策をする
車が無くても県内の移動が公共の移動手段で満足できるインフラ整備
全世代向けのキャンペーンの実施
無理しなくても良いです
公共施設の駐車場に電気自動車専用枠（充電スタンド有り）を増やすように助成金を出す。
車社会なので無理だと思う
車に頼りすぎない社会を目指しましょう。
仕事柄、アンケート冒頭にあったような環境関連の日本、世界の話題はある程度収集しています。 しかし、越前市の取り組みを知っているか、と言われると、庁舎やアイシンスポーツアリーナにソーラーパネルを設置して再エネ活用をしていることくらいしか知らず、その他の環境保全に関する取り組みなどはよく知りません。 市の取り組みに関心がないわけではないですが、新聞は取っていないし、子育てに追われて越前市の広報を流し読みする時間すら取れていないのが現状です。 越前市の公式 LINE で、環境保全に関する取り組みの紹介などを流してもらうのも良いのでは、と思います。 熱中症や食中毒に関する案内がイラストで届いて、タップすると市のホームページに飛ぶようになっていますが、同じようにイラストで目を引いて関心を持ってもらえるようにすると良いのではないでしょうか。 また、ホームページも文字ばかりの硬い内容だと、開いた瞬間に読む気がせず閉じてしまう方も多いと思うので、その点も考慮いただくと良いなと思います。
とりあえずやってることを目に見えるカタチでアピールしてほしいなぁ
各種導入に補助があれば自然と進むと思う 今の時代、お金をかけてまで環境を良くしようと考える人はかなり少ない。 何か自分にメリットがないと人は動かない
原発を再稼働するべきだと思う
全世帯（もしくは全地域）に緑や花の配布、 どれほど出してるか削減できるかの数値の見える化、豊かさの PR
内燃自動車の利用頻度の削減対策
最新の脱酸素技術に常に情報収集し、率先して導入するようにする。ただし、無駄な費用を出さないように、似非科学などに引っかからないよう大学や研究機関としっかり話を重ねること。
その予算を別の事に使用して下さい。どうかお願いします。
ハピコインで還元など、実践した人にバックがあれば、不純な動機かもしれないが、環境を意識する人が増えるのではないでしょうか。市主催のイベントは自家用車原則禁止など（公共交通使えばハピコイン●円）

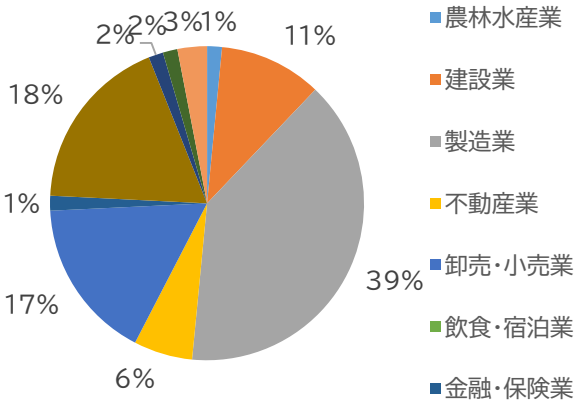
会社で環境分析事業に携わっております。市の取組みについて、一市民として、ポリシーや活動をしっかり支えさせて頂きます。 これからも、よろしくお願い致します。
車の購入にあたってハイブリッド、電気自動車、PHEV 購入時の独自の補助を実施して欲しい
・脱炭素社会を目指すことには賛成ですが、メガソーラー等の建設による森林伐採や土砂災害リスクが社会問題化しています。また、市民生活や地元企業への経済的負担の増加も懸念されます。バランスよく現実的なペースでの推進を希望します。 ・2050 年のゼロカーボン達成に向け、ロードマップや実績の広報、PR があると良いと思います。現在どのくらい脱炭素が進んでおり、目標に対してどのくらい進捗しているか見えるとモチベーションが上がります。
蓄電池だけの補助金があれば、直ぐにでも導入をしたい
住民 1 人 1 人の意識向上が大切だと思います。
「わが家の CO2 削減チャレンジ」のような取り組みを行い、電気使用量や CO2 削減を見える化し、年間の削減率で何かの優待が得られるなど、楽しみながら省エネを続けられる仕組みをつくる
環境省や林野庁の HP 等で 1 人が生活で排出している CO2 は 1.75t/年で、それを吸収できるスギの木は 125 本以上必要とありました。越前市の事業所や工場の CO2 排出を除き、越前市民が生活する際に排出する CO2 が、越前市内の森林で吸収可能かどうかなど、豆知識（ワンポイント）をいくつか計画書に掲載していただけると環境保全を身近に感じ得る思います。
太陽電池の導入大幅な補助金
2027 年度蛍光灯を廃止するにあたり、順次各家庭 LED に交換していく上で、補助して欲しい。
脱炭素や CO2 削減で、家庭でできることは限界があるが、少しづつ生活行動を変えること、小さい取り組みも積み重なれば、大きな効果を生むことが周知できれば、個人、家庭、会社、社会の行動変容につながると思う。まずは、身近な取り組みを広めることが必要ではないか。
なんでもゴミにするのではなく、再利用できるものはまた使ってもらえる人の手に渡り再利用してもらう。
ド田舎にもバスが来てくれたら中心部にアクセスしやすく、かつ電気自動車でもあれば脱炭素になるかと思います。福井は全体的にバスなどの交通機関よりも自家用車で行ったほうが楽な場所が多いので、自動車からの温室効果ガスを削減するなら、公共交通機関を整えたのほうがいいのかなと思います。 越前市が環境のためにこんなことをしてるのを初めて知りました。私自身も積極的に貢献していきます！陰ながら応援しています。
市としても取り組みは大切だが、個々として取り組むのにあたり、多くなりつつある高齢者世帯にとっては費用面や残された時間に余裕も無く実現は難しい。いっそのこと、公共バスは廃止して排気ガスも無くして欲しい。 今はオンデマンド予約タクシーがあるが相乗りと遠回りになるようで使いにくいらしい。そこで各自治振興会に予算をつけて、地区でボランティアドライバーを募り、地区オンリーの運行につなげたらどうか。
まちのことを 1 人 1 人が意識できる情報発信をお願いします。
CO2 をゼロには中々むりだと思いますが、こんきよく P.R していってほしいです。
膨大な二酸化炭素を排出し地球の水を汚し、電気を無尽蔵に使うデータセンターの建設は絶対に許可しないで下さい。 山をけずってメガソーラーを設置しないで下さい。お願いします！
地球全体での CO2 排出削減をどれほどすれば温暖化防止できるのか周知してほしい
越前市で二酸化炭素がどういった物や場所で出ているのかいまいちわからない。個人レベルでは、個々でやっている人もいるのでそれでは足りないのか？
無理のない範囲で行ってください
・家庭用生ごみ処理機の導入を考えているのですが、補助金がありましたら、迷わず導入に踏み込むことができると思います。 ・山間部の不法投棄やゴミのポイ捨てが後を絶たない。もっと取り締まりを強化してほしい。
学校教育の徹底

太陽光発電、水力発電、風力発電を増やしていく
いつか電気自動車を（希望）
・二酸化炭素を吸収する森作り ・メガソーラーとかはいらない。山をけずるのは正反対の愚行。 ・車社会なので、ゼロカーボンドライブのそくしん ・脱炭素を実施できている会社などをいろいろと優遇する ・街中の小さな区画ごとに緑地帯などを整備する　空き地など有効に使う
まずは全市民が脱炭素社会に意識をもつかがスタートではないでしょうか？
本当に 2050 年までに実質ゼロが良いか？ ゼロにすることで負荷が高くなり、越前市の産業の足かせにならなければいいが・・・
一気に何かをなくす「禁止する」よりも段階的に少しずつ減らしていくのが良いかと。例えば車のガソリンも少しずつ減らしていくにはハイブリットがしてから電気車や水素車にするのがいいと思います。だがしかしそれらにすることでの影響が伴う可能性すら出かねないとは限りません。電気車を作るにあたっては何年分の二酸化炭素が出たり出なかったりだとか、
近年とても気温が高く、熱中症などの命の危険も増えてきたので。二酸化炭素排出削減等は本当に大事な事だと思う。
具体的な計画（目標値）がわからないので、何をすればよいかわからない（24 年先では無理で近くの目標を決めてほしい）
小欲知足の生活様式への改良。
人間が環境対応しても地球の温度は変わらない。
車社会から新しい公共交通機関、移動手段の開発　居住地の集約
太陽光発電の補助をする
庁舎や公共施設への自家消費型太陽光発電増設、アルプラザや楽市のように、民間施設特にシピーを活用した事業展開（役所機能や小型図書館、屋内型公園…etc）
将来に対する危機意識の啓発と対策の啓蒙 節電をなぜ行うのか 自己意識を変えて行動に移すための積極的な活動を実施すれば実現可能だと思います どうすれば見えるかはテレビ・インターネット・チラシ・看板などいろいろあると思いますが福井県は車社会なので都市部とは違った取り組みが必要です 県外にもアピールするなら看板やサイネージを使うといいかもしれません
※具体的に個人としては、どうすればいいのか？　今までより、どうするのか。分かりやすく、教ええて下さい！
「のろっさ」を電気自動車にする。
脱炭素社会の実現や二酸化炭素排出削減について、具体策（例）を広報していただくと実現に向けて、協力できると思います。協力したく思います。
過疎地（へき地）の中・高年者の移動には自動車等は必要不可欠 省エネ車両の購入には相応の補助、援助が必要・欲しい
企業の脱炭素の取組みの推進
脱炭素や CO2排出削減などいう耳ざわりのいいフレーズを利用した増税はやめてほしい。 市は国からの予算獲得のためという実利で動いている実情だと思うがそれは我々の生活を良くするための活動という認識で取り組んで欲しい。 SDGS などという目標に本気で取りくむなら、各自一人一人のできることをなどという自己満足にひたらせるのではなく、中国などへの働きかけをしろ！！
・省エネを実施した人にポイント ・省エネにとりくむ際の補助
小規模水力発電の計画案はないのですか？あちこちに水車がある風景っていいと思います。
市がこういう活動していると知っている市民は、少ないと思うので、もっと、アピールすると良いと思います。

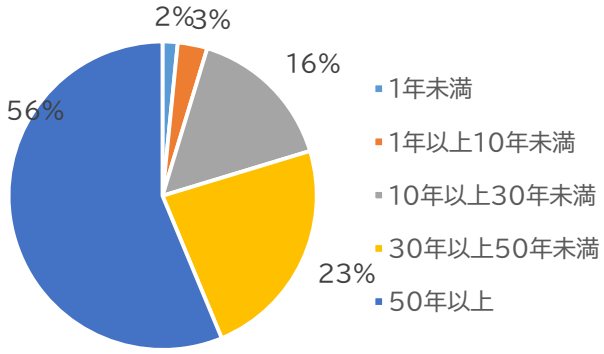
脱炭素、あまりよく理解していませんのでよく分かりません。
私は今電気自動車に乗っていますので二酸化炭素は出していませんが、市内をまわるバス等が不便なのとひざが悪くて余り歩けないのでどうしても車を使ってしまします。もう少し公共の乗物等が便利にならないかと思っています。
市の二酸化炭素セロにする計画はすばらしい計画だと思うが計画がムダにならぬ様に余裕を持った計画で進める事を望みます。
山に紅葉樹植林の補助をお願いしたい。
『ゼロカーボンシティ宣言』をしても企業、個人等が責任をもって行動にうつさない事にはなかなか実現は難しいと思う。でも、一人一人が協力し合っていけば少なからず少なくなるのでは‥‥。
近くのコンビニや買い物へ、車で行く人が多いこと　歩いて行くことで運動にも良いし、環境にも良い！
名前を聞いたことがあるが、しっかり理解できていない。分かりやすく、おもしろい方法で若い人たちにも知ってもらえるといいなと思いました。
ゴミや物を極力燃やさない ゴミの排出量が少なくなる様な取り組み ゴミの再利用
・生ごみ堆肥化を奨励するために、「生ごみ　だしません袋」を無料で配布する（例）長野県上田市、須坂市、飯田市 ・ダンボールコンポストなどでできた堆肥の回収会を開く（例）金沢市 ・製品プラスチックをプラ資源として収集しリサイクルする（例）鯖江市
脱炭素はお任せします それより　市役所が、いつも電気が、目一杯点いているのを少なくするのが、一番だと思います。すぐ出来る事だと思います
EV 購入に補助金はありますが、ガソリンスタンドの様に何処でも充電出来るような環境作りも合わせて行われると移行しやすいのかと思います。
アンケートを書き終え疲れました。この内容を全市民（子供→大人達）に知って欲しいです。
メリットばかりでなくデメリットも謳うべき
現在、古着等の回収が行われていないが、実施されればゴミの削減の一助になると思う。 不用品回収のシステムが整えられるとうれしい（業者によっては不安がある）
ぜんぜん思いつきません。
節電を心がける　マイカーの相乗り
原子力発電を増やそう
ハイブリッド車、電気自動車の購入補助
水災害や鳥獣害の大きな要因は、温暖化により雨の降り方が変わったことと、南から涼しさを求めて北に動物が上がってきていること、えさとなる樹木も暑さで変化してきていることだと思うので、脱炭素、温室効果ガスの削減は大切だと思うので、これからも取り組んでいって欲しい。
森林資源のエネルギーへの活用や小水力発電等を推進し、エネルギーが地域内て循環する仕組みを構築する。
実質ゼロには到底無理があると思います
バスなどの公共ののりもののエネルギーのことだけど、ガソリン、軽油のかわりとなる天ぷら廃油をエネルギーにしたらどうかな？（昔、TOKIO の番組でバイクでやってみたけど）
脱炭素社会の実現にむけての取りくみが何なのか知りません。ごめんなさい。私のようなものにも情報が届くように、広報して下さい。具体的に取りくんで、どう変わったのか教えていただけると助かります。また、環境という点に関して、山間部では人口の現象が急速に進んでいます。今後、地元の環境を維持するためにも、山の環境整備、空き家への対策（壊す費用の補助など教えてほしい）など、取りくみをおねがいしたいです。 山の環境整備は、スギのき対策（花粉がひどすぎる）ケモノたちへの対応です。
個人で簡単にできそうなことをキャッチフレーズにしたもの 5～10 個くらいを、目につく所に貼ったり広報したりする。子供でも分かりやすいようにイラストを入れるのもいいと思う

事業者　問１　回答者の属性

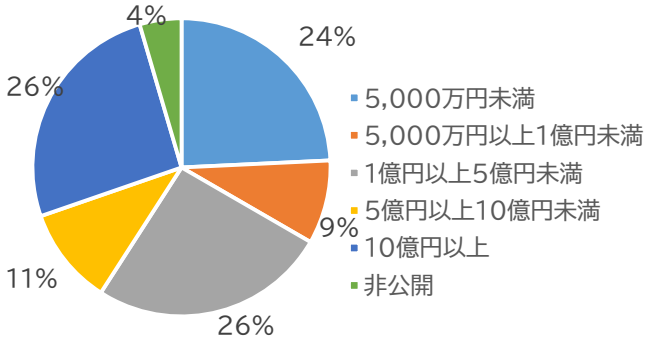
問 1-1【質問】貴事業所の業種を教えてください。



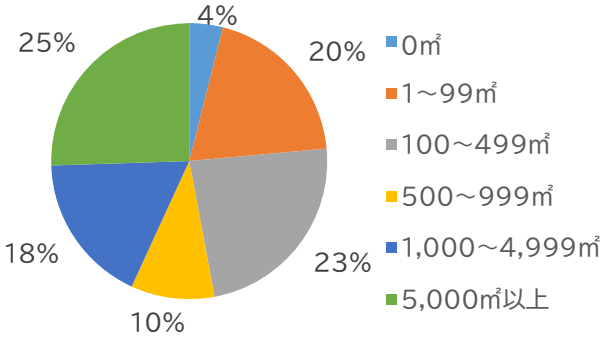
問 1-2【質問】貴事業所は創業何年になりますか。



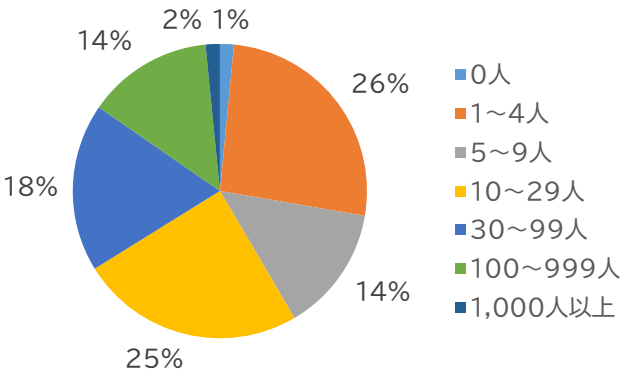
問 1-3【質問】年間売上、又は年間出荷額はどれにあたりますか。



問 1-4【質問】貴事業所の延べ床面積（事業所部分 / ㎡）をご記入ください。（越前市内に限る）

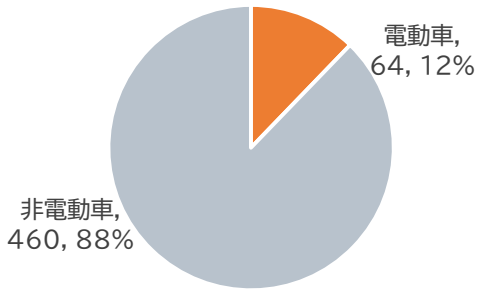


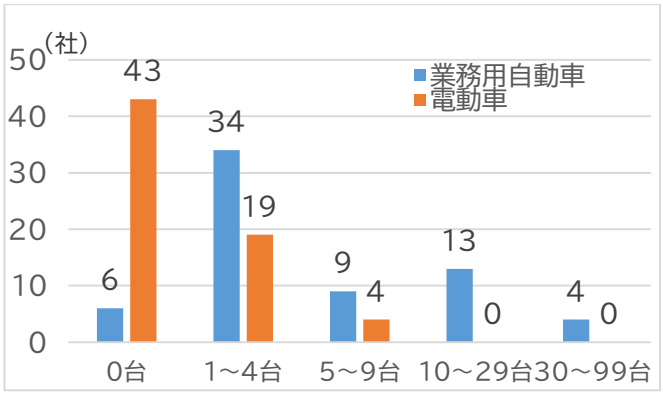
問 1-5【質問】貴事業所の従業員数をご記入ください。（越前市内に限る）



問 1-6【質問】貴事業所の業務用自動車の保有台数とそのうち電動車台数をご記入ください。（越前市内に限る）

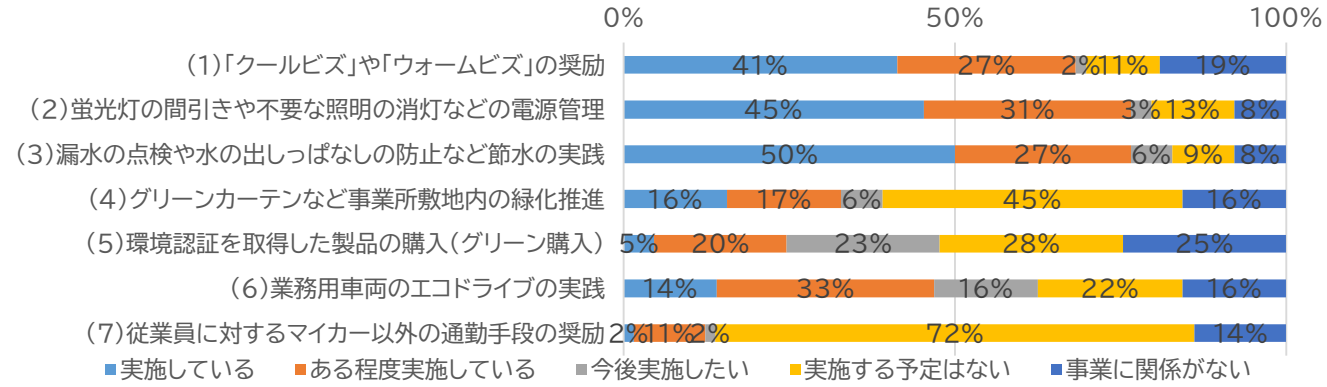
電動車の割合が最も高い事業者で、9台/10 台が電動車。





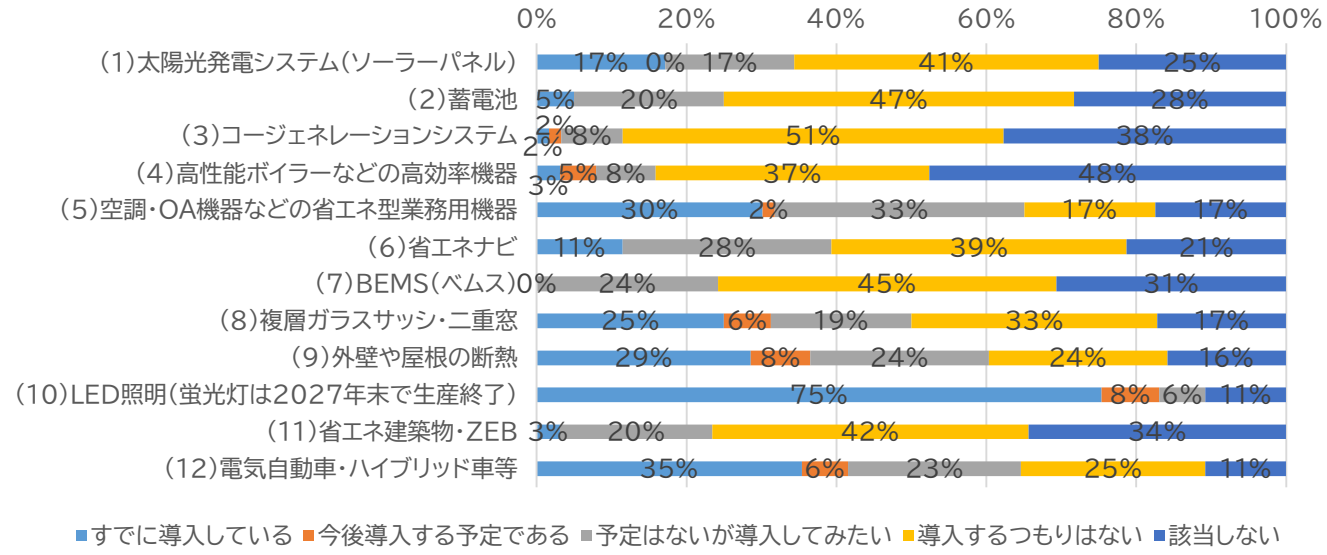
事業者　問 2　地球温暖化対策

問 2-1【質問】省エネ行動の実施状況



- (2)電源管理と(3)節水は「実施している」「ある程度実施している」の合計がともに 76.6%で、日常業務に取り入れやすい取組は比較的浸透しています。
- 一方、(7)マイカー以外の通勤手段の奨励は「実施する予定はない」が 72.3%であり、通勤手段の転換は難しい取組となっています。

問 2-2【質問】環境配慮設備の導入状況

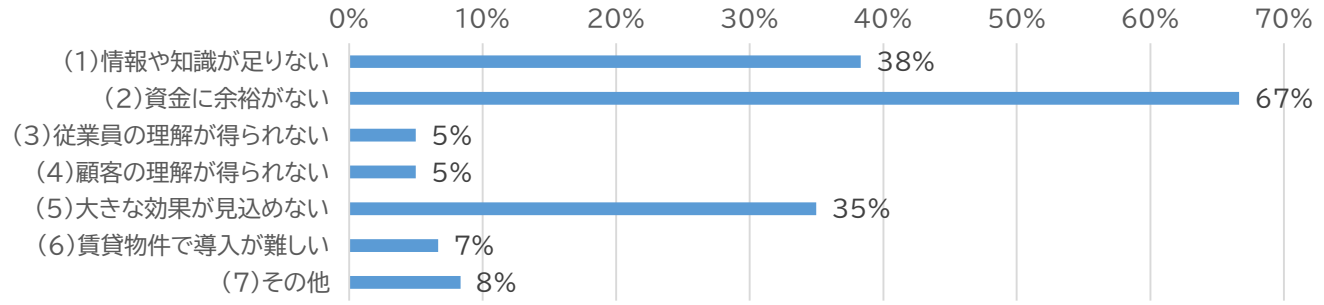


- (10)LED 照明は 75.4%が「すでに導入している」と回答し、最も普及が進んでいます。(12)電気自動車・ハイブリッド車等も 35.4%、(5)省エネ型業務用機器も 30.2%が導入済みです。
- 「予定はないが導入してみたい」の観点では、(5)省エネ型業務用機器の 33.3%が最多となっています。
- また、(1)太陽光発電システムは 17.2%が導入済みで、およそ6事業所に1事業所が導入済みとなっています。導入済みのうち、7件について具体的なパネル容量の回答がありました。

業種	導入容量(kW)
製造業	200
製造業	137
製造業	250
建設業	10

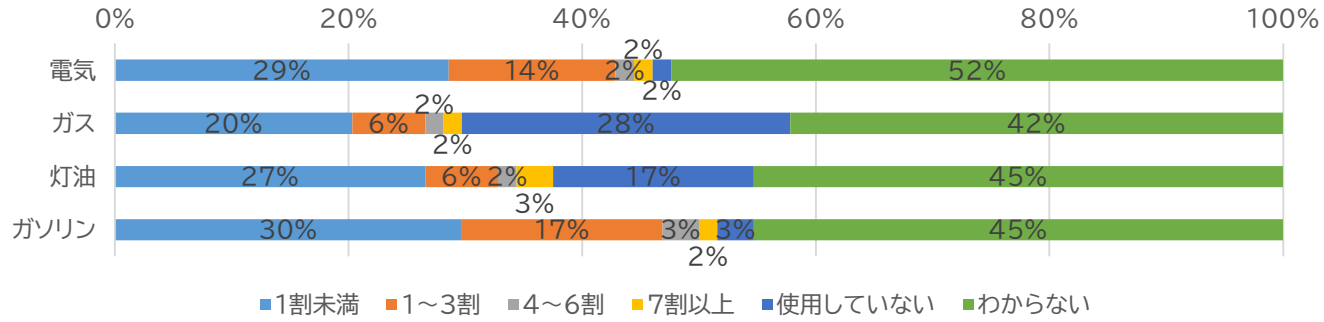
業種	導入容量(kW)
サービス業(ほかに分類されない)	150
卸売・小売業	5.5
卸売・小売業	7

問 2-3【質問】地球温暖化対策を実施する上での課題



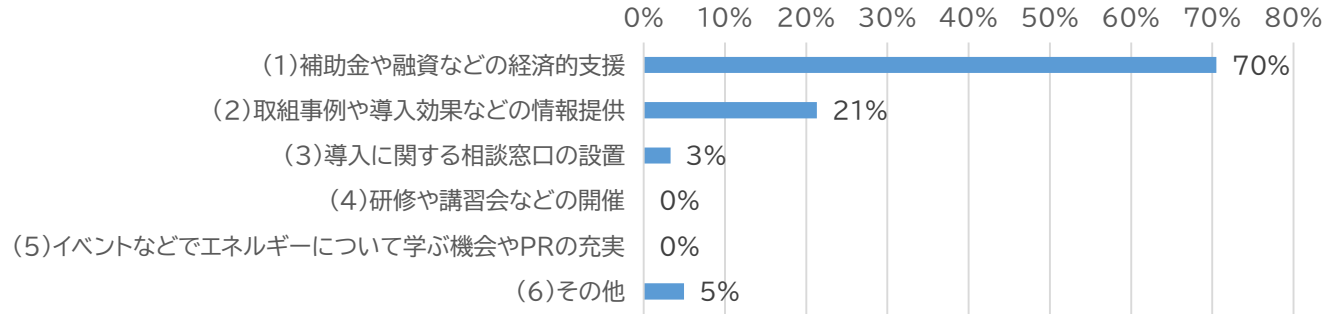
- (2)「資金に余裕がない」が 66.7%で最も多く、(1)「情報や知識が足りない」が 38.3%、(5)「大きな効果が見込めない」が 35.0%で続いています。経済的支援に加え、効果や導入方法を具体的に示す情報提供が求められます。

問 2-4【質問】5 年後のエネルギー使用量削減見込



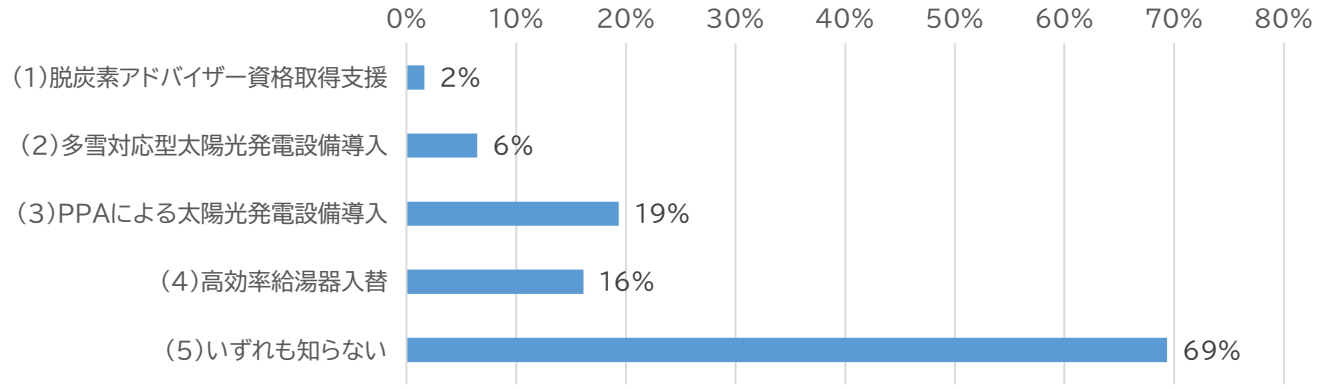
- すべてのエネルギーで「わからない」が 4 割を超え、電気では 52.4%となっています。削減可能量を具体的に把握できていない事業所が多いと考えられます。
- 削減可能とした回答では「1 割未満」が最も多く、大幅な削減よりも小幅な改善を見込む傾向があります。

問 2-5【質問】市に求める取組



- 「補助金や融資などの経済的支援」が 70.5%で突出して多く、「取組事例や導入効果などの情報提供」が 21.3%で続いています。研修会や講習会の回答はなく、設備投資の負担軽減を最も重視していることが読み取れます。

問 2-6【質問】市の支援事業の認知



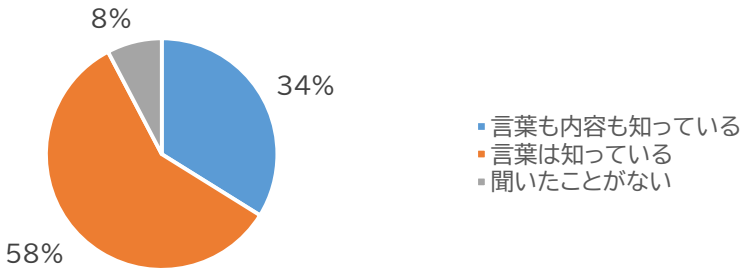
問 2-7【質問】支援事業の情報を知ることができる周知方法(自由記述)

No.	回答内容(原文ママ)
1	宣伝
2	現状では必要と思わない
3	脱炭素って本当の意味知ってますか？市の推進が正しいとする根拠を示してください
4	DM 又は広報
5	ダイレクトメールでの通知
6	市の広報やメールでのお知らせなど
7	金融機関を通じた補助金等の説明
8	広報やメール等
9	事業者に金銭やその他メリットがあることであれば、それを強めに説明、案内してほしい
10	官報に載せる
11	わからないから知らない(チラシがあれば良い)
12	セミナーなど
13	講演会
14	JA を通じての広報
15	『越前市広報』の一面に特集を載せる
16	DM
17	広報誌
18	広報誌
19	メール等で知らせてほしい
20	無意味。中国、米国をなんとかしないと穴のあいたバケツ

- 支援事業への認知ついては、「いずれも知らない」が 69.4%であり、市の支援事業は十分に認知されていない状況です。個別事業では PPA による太陽光発電設備導入が 19.4%となっています。
- 自由記述 20 件では、広報誌、ダイレクトメール、メール、チラシなど、事業者へ直接届く周知方法を求める意見が多くみられます。

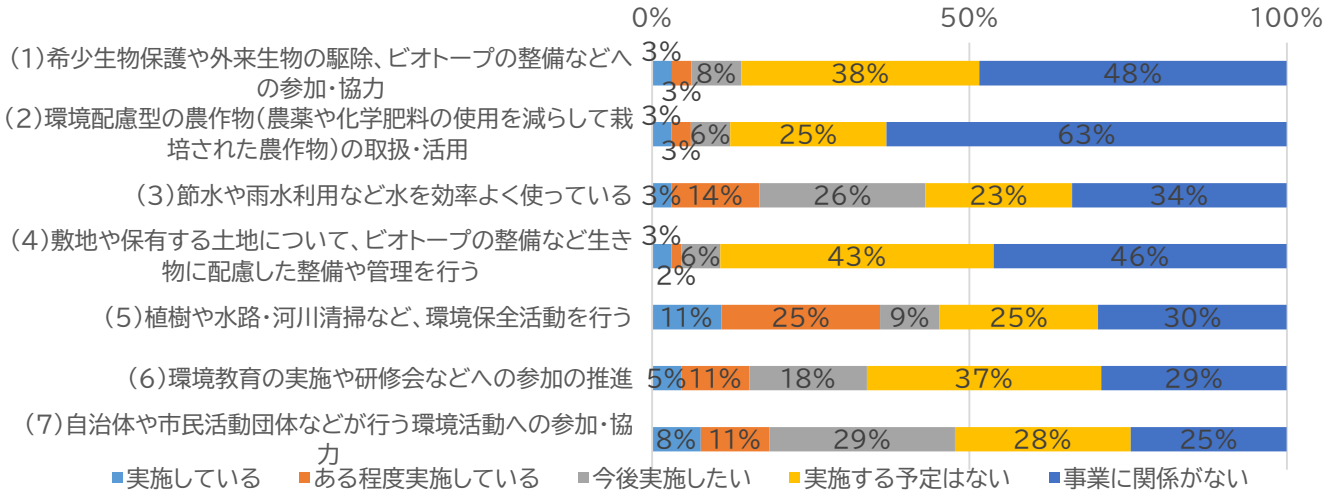
事業者　問３　自然環境・生物多様性

問 3-1【質問】「コウノトリが舞う里づくり」の認知度



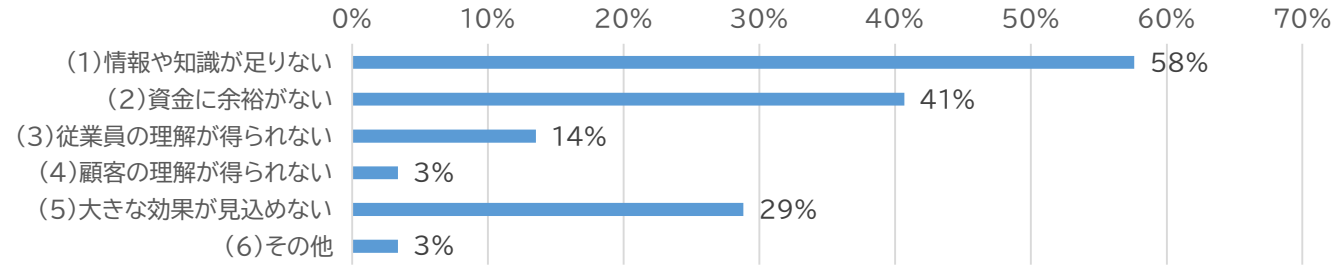
- 「言葉は知っている」が 58.5%、「言葉も内容も知っている」が 33.8%で、認知率は合計 92.3%です。取組の名称は広く浸透している一方、内容まで理解している事業所は約 3 分の 1 にとどまります。

問 3-2【質問】自然環境・生物多様性保全行動の実施状況



- (5)植樹や河川清掃などの環境保全活動は「実施している」「ある程度実施している」の合計が 35.9%で、他の自然保全行動より実施率が高くなっています。
- (1)希少生物保護等や(2)環境配慮型農産物の活用は「事業に関係がない」が約 5～6 割を占め、業種によって取り組みやすさが大きく異なります。

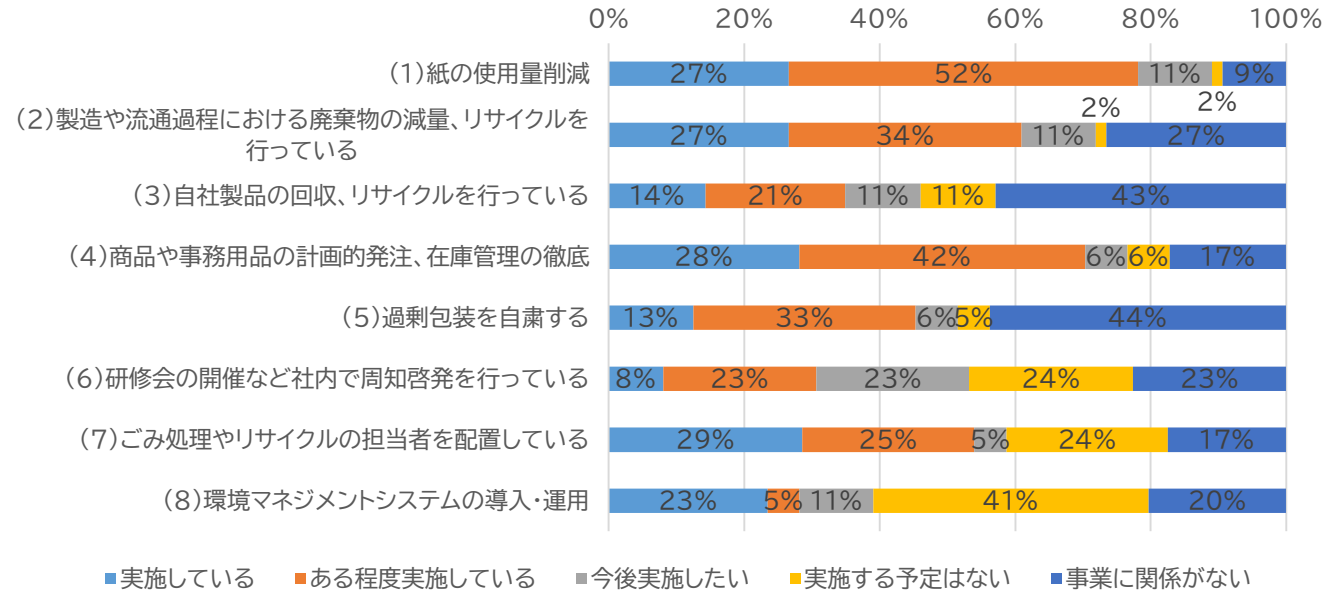
問 3-3【質問】自然環境・生物多様性保全の課題



- (1)「情報や知識が足りない」が 57.6%で最も多く、(2)「資金に余裕がない」が 40.7%、(5)「大きな効果が見込めない」が 28.8%で続いています。具体的な取組事例と効果を示すことが、参加促進につながると考えられます。

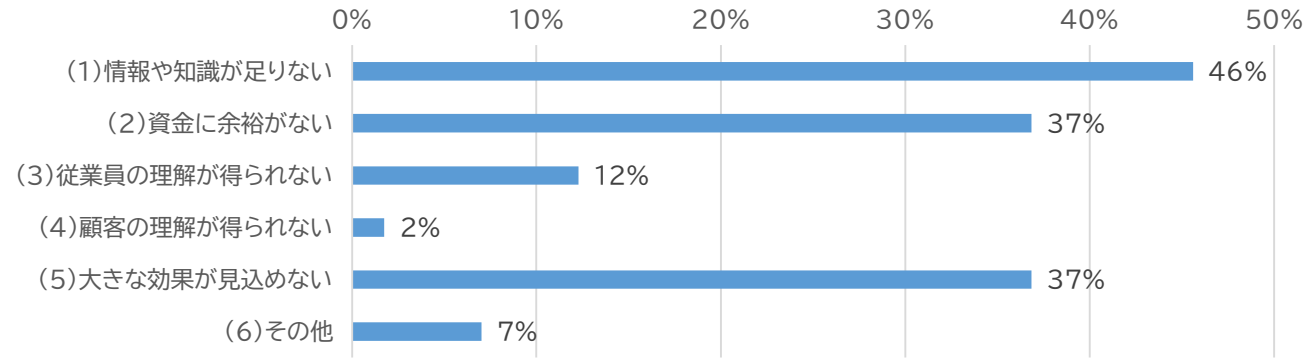
事業者　問４　ごみ減量・リサイクル

問 4-1【質問】ごみ減量化・リサイクル行動の実施状況



- (1)紙の使用量削減は「実施している」「ある程度実施している」の合計が 78.1%、(4)計画的発注・在庫管理は 70.3%で、日常業務に直結する取組は進んでいます。
- 環境マネジメントシステムは「実施する予定はない」が 40.6%であり、体制整備を伴う取組は導入が進みにくい傾向です。

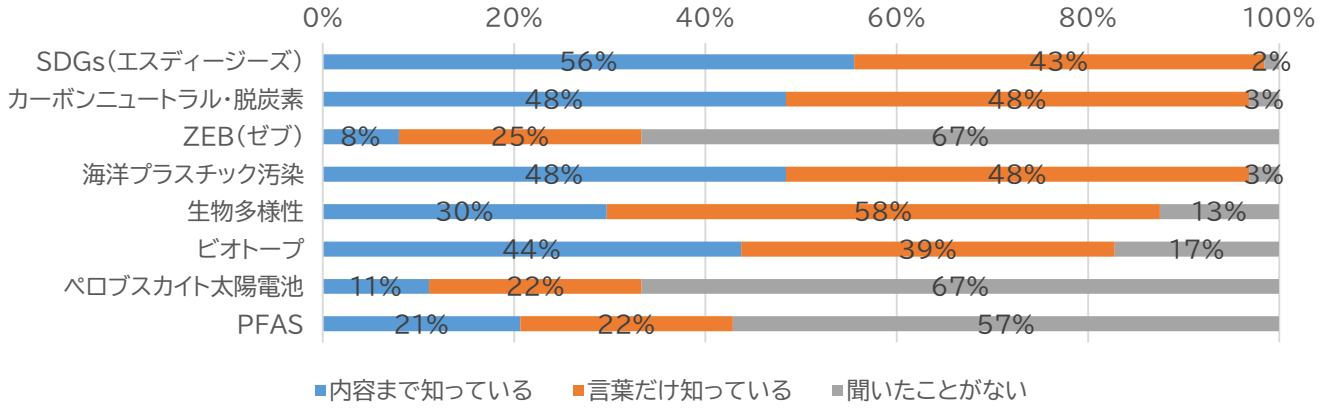
問 4-2【質問】ごみ減量化・リサイクルの課題



- 「情報や知識が足りない」が 45.6%で最も多く、「資金に余裕がない」と「大きな効果が見込めない」が各 36.8%となっています。費用面の支援と併せて、減量効果や取組方法の見える化が必要です。

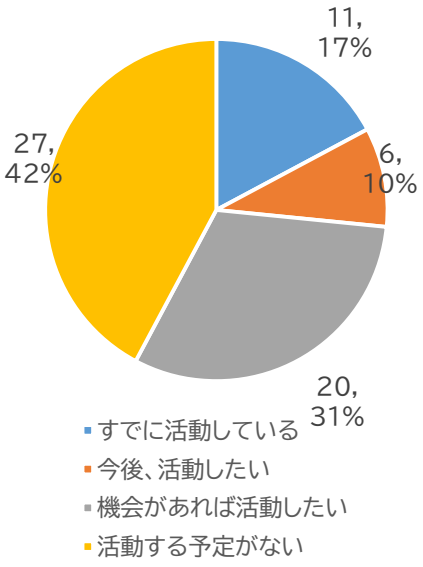
事業者　問 5　環境に関する認知・活動状況

問 5-1【質問】環境用語の社内認知



- SDGs は 55.6%が「内容まで知っている」と回答し、カーボンニュートラル・脱炭素と海洋プラスチック汚染も約半数が内容まで認知しています。
- 一方、ZEB とペロブスカイト太陽電池は 66.7%、PFAS は 57.1%が「聞いたことがない」と回答しており、新しい専門用語の認知には大きな差があります。

問 5-2【質問】他団体との連携した環境保全活動



問 5-3【質問】他団体との連携した環境保全活動の連携先及び活動内容

※「すでに活動している」が 11 事業者であることに留意

連携先	回答数
(1)県や市などの自治体	4
(2)自治会・町内会	3
(3)学校などの教育機関	0
(4)環境保全活動団体	1
(5)他の企業	4
(6)その他	1

活動内容	回答数
(1)森林(竹林を含む)保全活動	2
(2)生物保全活動	2
(3)廃棄物やリサイクル活動	5
(4)地球温暖化対策やエネルギーに関する活動	3
(5)清掃美化活動	7
(6)緑化活動(花壇やプランターの花植えなど)	1
(7)その他	0

- 「すでに活動している」は 17.2%にとどまる一方、「今後、活動したい」「機会があれば活動したい」の合計は 40.7%です。参加の機会や連携先を提示することで、活動が広がる可能性があります。
- 活動中の事業所では、県・市などの自治体と他企業が各4件で主な連携先となっています。活動内容は清掃美化活動が7件で最も多く、廃棄物・リサイクル活動が5件で続いています。なお、問 5-3 は該当事業者が 11 事業者と少ない点に留意が必要です。

問 5-4【質問】環境分野別キャッチフレーズ（自由記述） ※原文ママ

地球環境	生活環境	自然環境	資源循環	環境共育
DS に騙されない環境対策	舞う命、つなぐ未来	美しい街　届けよう未来へ	有価物への取組の越前市へ	学びある越前市へ
温暖化を超えて、前向きな未来へ	健康寿命を延ばす越前市	大気環境への取組み越前市へ	きれいなまち越前	みんなのクリーンなまち
オゾン層破壊　温暖化対応へ	澄んだ空越前	コウノトリが舞うまち	めぐる資源、つながる未来	未来のために、自然と共にみんなで育つ
カーボンニュートラルシティ越前市	環境先進を住まいから	地球のいのち、つないでいこう	ゴミの減量化・みんなで取組むまち	みんなで環境を学び未来を育てる越前市
越前市の未来のために	きれいな暮らしと豊かな環境　みんなで皆ろう越前市	豊かな田んぼとコウノトリ	もったいないを未来の資源に	
未来の越前市へ　今できる脱炭素	いつまでも住み続けたいまち	空地が美味しいまち	ごみの少ないまち	
		コウノトリが舞う　自然豊かな越前市		
		コウノトリと共生するまち		

事業者　問 6　将来像・自由意見

問 6【質問】ゼロカーボンシティに関する意見・アイデア（自由記述）

回答内容（原文ママ）
日本全体が実質ゼロにし目標達成したところで地球に与える影響は無に等しい。世界機関が何のために活動してるか、上の言っている事を盲目に正しいと判断するのは〇〇です。むだな時間とお金をかけて日本を悪い方向に導くのはやめて下さい。
EV トラックに補助金を出して欲しい！
農地の耕作放棄地を利用して太陽光パネル等の設置を推進してみてはどうか？どうせ農地としての利用がないなら、安価で交渉できると思う。
ハイブリッド車、EV 車購入時の補助金の充実
集落農業の法人ですが、金の掛からない直播きに取り組みたいので資金と研修を願います。
補助金の拡充が必要。弊社のような零細企業では費用対効果を大きく意識するため、例えば車を買う時は補助金が大きいと選択肢に上がる。
機械設備等の EV 化に補助金を増やして欲しい。 法人の屋根断熱、ガラス断熱に補助金を増やして欲しい。